

平成23年度「日本／ユネスコパートナーシップ事業」
ユネスコスクール地域交流会in金沢
参加（発表）報告書

提出日 2011年 9月 30日

1. 学校基本情報

学校基本情報Ⅰ			
ふりがな	いしかわけん かなざわし かないわきた 4ちょうめ 1ばん 1ごう		
住所	〒 920 - 0338 石川 都道府県 金沢市金石北4丁目1番1号		
連絡先	TEL	076 - 268 - 1313	FAX 076 - 268 - 1314
	E-MAIL	kanaiwa-e@kanazawa-city.ed.jp	HP www.kanazawa-city.ed.jp/kana
ふりがな	かなざわしりつ かないわまちしょうがっこう		
学校名	金沢市立金石町小学校		
ふりがな	なかむら まさえ		
学校長名	中村 雅恵		
ユネスコスクール 加盟時期	2009 年 10月		
ふりがな	かんむら けいいち		
発表教員氏名	勘村 圭一		
役職	教諭	担当教科・ 学年	5年
学校基本情報Ⅱ			
学校の教育目標と その説明 (300字程度)	<p>学校教育目標を「心豊かに、たくましく生きる児童の育成」、め ざす児童の姿を、「考える子、思いやる子、やりぬく子」とし、4 つの柱を立てて具体的目標を設定している。4つの柱とは、知・徳・体・絆であ り、具体的目標はあわせて次の10項目である。①考える力の育成②読書の習慣 形成③家庭学習の充実④あいさつの励行⑤思いやり行動の習慣化⑥人間関係形成 能力の育成⑦基礎的な体力の向上⑧健康的な生活習慣づくり⑨ボランティア活動 の実践⑩持続発展教育（環境教育等）。この10項目をもとにして、例えば「1 年間で50冊の本を読もう」というふうに評価しやすいめあてにして、児童にも 呼びかけている。</p>		
地域の特徴とこれ までの活動実績 (500字程度)	<p>【地域の特徴】 金石地区の西側には縹渺と日本海が広がり、夏場は爽やかな風と共に汐の香りが漂う自然豊かな環境である。かつては北前船の寄港地として賑わいをみせ、学校の南西には古くからの町並みが広がっている。また、東側には金沢港があり、まさしく海とともに発展を遂げてきた地域である。 地域の方々も地元意識が強く、金石に誇りを持っている。古くからの伝統を重んじ世代を越えての結束力が強い。</p> <p>【活動実績】 『われらの誇り、「金石」の発見!』を、人・もの・自然とのかかわりを通して学習している。 3年生は町探検をすることで、金石の町にある様々なものに興味を持ち、それらを調べる活動をしている。その中でも地域に伝わる「悪魔払い」を取り上げ、実際に踊りを教えて貰い、受け継いでいっている。4年生は身近な福祉について調べ、地域の福祉施設への訪問を通して、金石の町を福祉の視点で見ている。5年生は海の環境をテーマに調査活動を中心に学習している。6年生は地域の偉人を調べることを通して、今、自分ができること、将来の自分の生き方を見つめる学習をしている。</p>		

2. 今回、交流会で発表された学校でのESD活動について下記にまとめてください。

活動 タイトル (30字以内)	海の町・金石			
目的 (300字程度)	金石は海と共に発展してきた町であり歴史も文化も豊富である。この町を海を通して改めて見つめていこうと考え、以下の目標で学習を進めてきた。 ・校区に存在する海岸に愛着を持ち、守っていこうとする。 ・調べ活動をするに当たって、客観性・再現性を意識してデータ収集や実験・観察を行うことができる。 ・相手を意識した発表の仕方を考え、要約して書いたり筋道を立てて話したりすることができる。			
対象学年・対象者	5年生	対象人数	79人	教科・ 課外活動 総合的な学習の時間
内容 (スペースは自由に 広げてください) (800字以上)	<p>【学習計画】 4月…学習の見直しをもつ。 5月…海岸に出向き課題を見つける。 6月…課題について情報収集をする。(個人) 7月…情報を取捨選択しまとめ発表する。 9月～11月…海岸に出向き新たに課題を見つける。 課題について情報収集をする。(グループ) 情報を取捨選択しまとめ発表する。 12月…金石ワンダーランドで地域の人や他学年の児童に発表する。</p> <p>【内容】 5月～7月の取組みについては海岸に行き、不思議に思ったことや調べてみたいことを見つけ自分の課題を決定した。そして課題解決に向けて、手段を選択しながら情報収集を行った。ここでは情報を収集するさまざまな方法を知ることによって9月以降の学習に活かされると考えた。 9月～11月の取組みは毎月初めに海岸へ出かけ、主に変化を確認したり、新たな発見を調べたりする学習を進めてきた。5つのグループ(海岸にあるごみについて、水質について、生息している生き物について、植わっている植物について、金石海岸の歴史的移り変わりについて)に分かれ理科学的な視点で学習を進めた。ごみについては、量の変化やいつ、どの辺りから辿り着いたかなど、ごみからの手がかりをもとに考えていた。水質については透明度や汚濁の数値等を条件を制御しながら確認した。生き物、植物については種類や時期での変化を調べていた。歴史については、学校の資料室にある写真を見たり、家族や地域の方へのインタビューをしたりして情報を収集していた。</p> <p>11月の後半には各グループが追究したことを発表した。自分たちが実験したデータや調べた情報がまとめられて共通理解がなされた。子どもたちはもっと多くの人に伝えたいという思いが強くなったので、12月の「金石ワンダーランド」(地域の方や他学年に総合的な学習の時間の発表)で伝えることにして、準備にとりかかった。当日はお年寄りから1年生までさまざまな年代の方にお話をするので相手を意識した話し方、接し方を考え準備した。</p> <p>【成果】 ・子どもたちが校区に存在する海について改めて考えるようになった。自分たちの海が汚れている現実を見て守っていこうという意識が高まった。 ・実験や観察をするにあたって、理科で培った条件制御を活かすことができた。また、「金石ワンダーランド」では国語科での話す力を活かすことができた。</p>			
<p>【貴校におけるユネスコスクール・ESD活動について教えてください。】(○で囲む)</p> <p>*①学校内でESD、ユネスコスクール関連の連絡会議がありますか。 (はい・いいえ)</p> <p>*②ESDカレンダーを作成していますか。 (はい・いいえ)</p> <p>*③活動の実施に当たり、外部の方の協力を得ていますか。 (はい・いいえ)</p> <p>*④活動の結果、生徒の行動や思考に変化が生じていると感じますか。 (はい・いいえ)</p> <p>*⑤活動を通して先生ご自身が新たに気づいたことがありますか。 (はい・いいえ)</p>				

⑥上記の活動を通して、先生が発見したこと、生徒の感想や保護者、地域の方々の声、先生のご感想などを自由に書いてください。

ESD活動を実施するにあたって、学校現場で大事になってくることは、人任せにしないで、自分または自分たちで課題を解決していく力を育むことである。また、より高いレベルで学習をするには他者のと「つながり」が必要であると考え学習を進めている。

*①～⑥について

平成22年度文部科学省「日本／ユネスコパートナーシップ事業」学校&みんなのESDプロジェクト活動報告書『ひろがりつながるESD実践事例48』（P.159）をご参照ください。

3. コメント

この地域交流会の参加を通して、先生が発見したこと、ご感想やご意見などを自由に書いてください。（500字以上）

今回の交流会では他県の小学校と交流を持ちたいと思い参加させていただきました。分科会や交流の時間で他校の実践や取組みを聞き、小学校だけでなく上位学校（中学校・高等学校・高専・大学）や各種団体、企業などとのつながりの道筋が見えてきてたいへん参考になりました。小学校では器具や施設も限られているので、上位学校のより専門的な知識や施設などを活用させていただければ充実した活動になると思いました。

また、「つながり」がキーワードとして残りました。震災における人と人のつながりは聞いていて頷くしかありませんでした。学習においても、つながることで一面的にしか見えなかったことも他者からの指摘があれば多面的に考えられ、思考や表現に深みが増し、ダイナミックな学習が展開されることになる。

今後ESD活動を実施するには「つながり」が不可欠であると感じ、さまざまなネットワークが構築できればいいなあと思い帰路につきました。